

DPT-RS2・DPT-RS2A・IP³-PT・IP³-P4

IP³-FP8・IP³-FP4・IP³-K5D

ファームウェア書換え方法

1. はじめに

- ・ 本書は DPT-RS2・DPT-RS2A・IP³-PT・IP³-P4・FPT-RS2A・IP³-FP8・IP³-FP4・IP³-K5D のファームウェア書換え手順書です。
- ・ ファームウェア書換え後は 設定を工場出荷値(初期値)に戻す為、あらかじめ設定を読み出して下さい。
- ・ ファームウェア書換え中に本装置の 電源を切る・RS-232C ケーブルを抜く ことはしないで下さい。装置が故障する場合があります。
- ・ ファームウェア 書換え作業の失敗における動作不良に関しては有償修理 となりますので、手順に従い慎重に作業を行って下さい。

2. 準備物

ユーティリティ	“h8_veruputy_***.zip” (***はファイルのバージョン)		
バージョンアップファイル	DPT-RS2	“dpt2_rom_***.zip”	(***はファームウェアのバージョン)
	DPT-RS2A	“dpt2a_rom_***.zip”	(***はファームウェアのバージョン)
	IP ³ -P4	“ip3p4_rom_***.zip”	(***はファームウェアのバージョン)
	IP ³ -PT	“ip3pt_rom_***.zip”	(***はファームウェアのバージョン)
	FPT-RS2A	“fpt2a_rom_***.zip”	(***はファームウェアのバージョン)
	IP ³ -FP8	“ip3fp8_rom_***.zip”	(***はファームウェアのバージョン)
	IP ³ -FP4	“ip3fp4_rom_***.zip”	(***はファームウェアのバージョン)
	IP ³ -K5D	“ip3k5d_rom_***.zip”	(***はファームウェアのバージョン)
RS-232C ケーブル	全結線の RS-232C ストレートケーブル×1 本		
パソコン	COM ポート(シリアルポート)を搭載した PC/AT 互換機・PC-9800 シリーズ機 OS : Windows me・Windows2000・Windows NT4.0・Windows XP・Windows7・Windows8		



ユーティリティ及びバージョンアップファイルは弊社ホームページ(www.i-netd.co.jp)よりダウンロードできます。
ユーティリティ及びバージョンアップファイルは“Zip”形式にて圧縮してあります。解凍ソフトは別途ご用意下さい。

3. アプリケーション

3-1. セットアップ

“h8_veruputy_***.zip” をパソコン内の適当なフォルダ(ディレクトリ)に展開(解凍)して下さい。

ファイル説明

H8SUpdate104.exe : アプリケーション本体

H8SUpdate104.ini : アプリケーションの設定情報を保存するファイル

H8sbt001.sub : ブートレコードファイル(ファームウェア書換え制御プログラム)

- ・ 本アプリケーションはインストーラー(SetUp.exe)ではありません。“H8SUpdate104.exe” 単体で動作します。
- ・ 上記 3 つのファイルは 同一フォルダ(ディレクトリ)に保存 して下さい。
- ・ 上記 3 つのファイルは ファイル名の変更・ファイル内部の内容変更 は行わないで下さい。

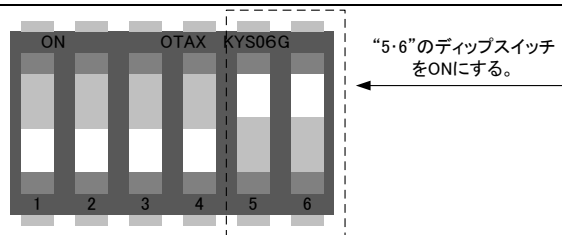
3-2. アプリケーションの削除

本アプリケーションは レジストリを使用していません ので、本アプリケーションを削除する場合は“ファイル説明”に記載した 3 つのファイルを単に削除して下さい。

4. 書換え準備

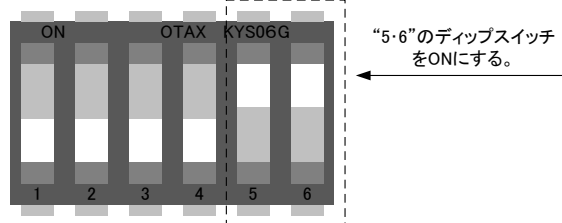
4-1. DPT-RS2・DPT-RS2A・FPT-RS2A

- 本装置の“外部装置”と表記されている RS-232C コネクタとパソコンの COM ポートを RS-232C ストレートケーブルにて接続します。
- 本装置のディップスイッチを右図のように操作し 電源を再投入します。このとき、本装置の電源以外の LED1～LED5 は不定発光をしますが、故障ではありません。



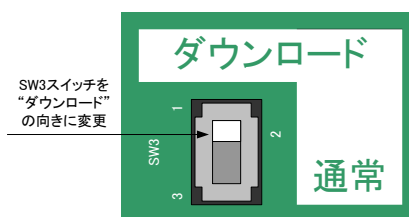
4-2. IP3-PT・IP3-FP8・IP3-K5D

- 本装置の“保守用”と表記されている RS-232C コネクタとパソコンの COM ポートを RS-232C ストレートケーブルにて接続します。
- 本装置のディップスイッチを右図のように操作し 電源を再投入します。このとき、本装置の電源以外の LED1～LED5 は不定発光をしますが、故障ではありません。



4-3. IP3-P4・IP3-FP4

- 本装置の“保守用”と表記されている RS-232C コネクタとパソコンの COM ポートを RS-232C ストレートケーブルにて接続します。
- 本装置右側のスイッチを右図のように操作し 電源を再投入します。このとき、本装置の状態 1・状態 2 の LED は緑・赤両方とも点灯します。点灯を確認後、次の作業に移行してください。



各製品共通

ファームウェア書換え時は Mobile Ark への RS-232C ケーブル、Mobile Ark 電源供給ケーブルを 取り外す必要はありません。

注意 IP3-PT・IP3-P4・IP3-FP8・IP3-FP4・IP3-K5D のみ

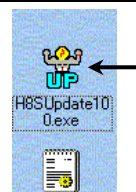
バッテリーを使用時は あらかじめバッテリーを取り外してから本体の電源を切り、“4. 書換え準備”を行って下さい。

ファームウェア書換え前後の停電・復電通報は行いません。また、装置内の累積カウンタも消去されます。

5. アプリケーション操作

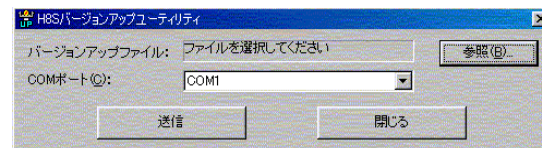
5-1. アプリケーション起動

“H8Supdate104.exe”をクリックします。このアプリケーションは“スタートメニュー”には登録されませんので、直接アプリケーションから起動して下さい。



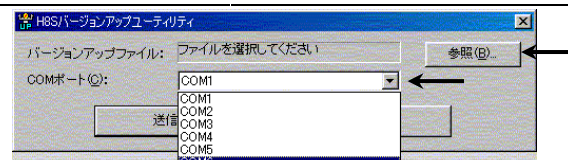
5-2. 起動画面

アプリケーションが起動すると右図の画面が表示されます。



5-3. COMポート選択

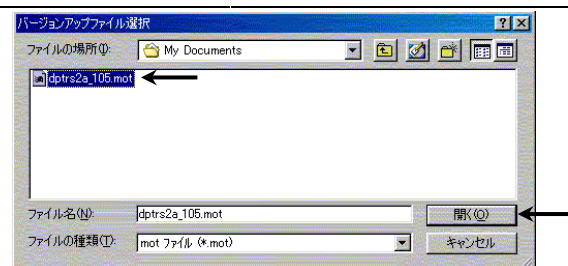
装置がパソコンに接続されている“COMポート(C)”選択後、“参照(B)”をクリックしバージョンアップファイルを選択します。



5-4. バージョンアップファイル選択

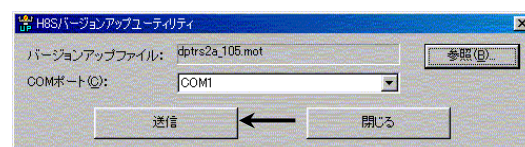
“参照(B)”をクリックするとダイアログボックスが開きますので目的のバージョンアップファイルを選択します。

“DPR-RS2A”のバージョン 1.05 のファイルが“C:¥My Documents”にある場合の例です。



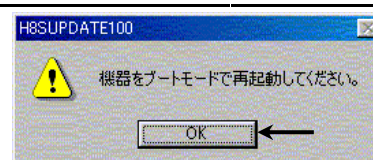
5-5. バージョンアップ開始

“COMポート”・“バージョンアップファイル”の選択が終了後“送信”ボタンをクリックします。



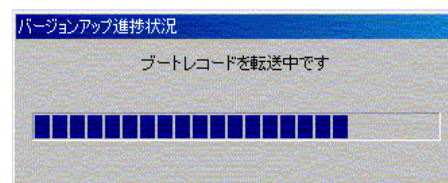
5-6. ブートモード起動

“送信”ボタンクリック後、右図のメッセージが表示されます。ケーブル接続・電源再投入・ディップスイッチの状態を確認後“OK”をクリックします。



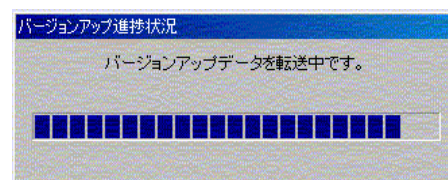
5-7. ブートレコード転送

ここからは自動処理となります。ブートレコード転送は約 10 秒～15 秒で終了します。



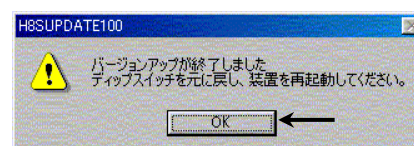
5-8. バージョンアップデータ転送

ブートレコード転送終了後、バージョンアップデータ転送に自動移行します。バージョンアップデータ転送は約 1 分～3 分で終了します。



5-9. バージョンアップ終了

バージョンアップが正常に終了すると右図のメッセージが表示されます。



6. 書換え完了後

6-1. 設定初期化

ファームウェアの書換えが完了後、装置の設定を工場出荷値・初期値へ戻します。

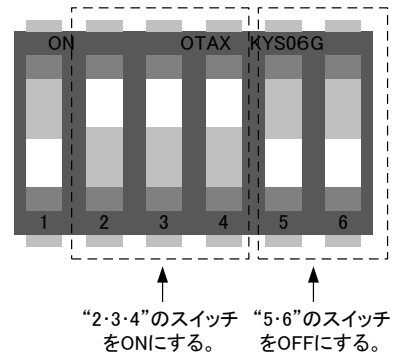
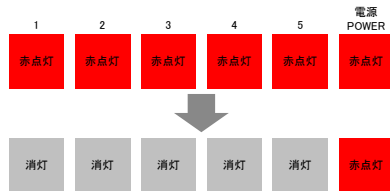
DPT-RS2・DPT-RS2A・FPT-RS2A・IP³-PT・IP³-FP8・

IP³-K5D

バージョンアップ終了後、装置の電源を切り右図のようにディップスイッチを変更し、電源を再投入して下さい。

装置の電源以外のLED1～LED5が同時赤点灯をします。

LED1～LED5の赤点灯が消灯になると作業完了です。

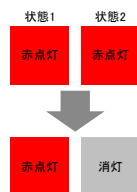


IP³-P4・IP³-FP4のみ

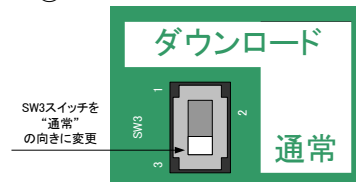
バージョンアップ終了後、装置の電源を切った後、SW3を“通常”の向きに変更し(手順①)、設定用ディップスイッチ1～3を全て“ON”し(手順②)電源を再投入して下さい。

状態1及び状態2が同時赤点灯をします。

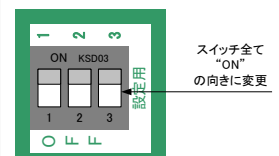
状態2のみ赤点灯から消灯になると作業完了です。



①



②



6-2. 装置再設定

各種機器取扱説明書を参照の上、機器の再設定を行って下さい。

IP³-PT・IP³-P4・IP³-FP8・IP³-FP4・IP³-K5Dは装置再設定が完了してからバッテリーを接続して下さい。

6-3. 2台目以降のバージョンアップ

同一機種を同一のバージョンにファームウェアを書換える場合、“4. 書換え準備”を行った後、“5-5. バージョンアップ開始”から“6-2. 装置再設定”までの作業を繰り返し行って下さい。

7. エラーメッセージ

7-1. COM*がオープンできません。



選択した COM ポートが...

- ・ 他のアプリケーションで使用されていないか？
- 確認
- ・ パソコンに存在するか？
- ・ 使用不可になっていないか？

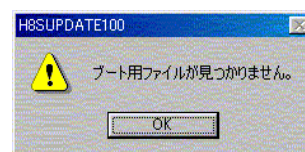


7-2. ブートファイルが見つかりません。



- ・ “H8Supdate.exe” と同一フォルダに “H8sbt001.sub” が存在するか？
- ・ “H8sbt001.sub” のファイル名称は正しいか？

確認

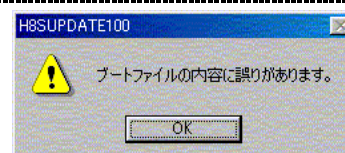


7-3. ブートファイルの内容に誤りがあります。



- ・ “h8_veruputy_***.zip” をもう一度ダウンロードし、セットアップをやり直す。

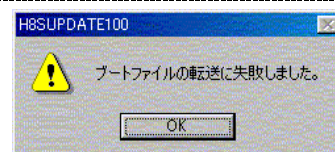
対策



7-4. ブートファイルの転送に失敗しました。



- ・ RS-232C ケーブルの接続
- ・ 装置電源投入の状態→電源を再投入し、再送信を行う。
- 確認
- ・ ディップスイッチの位置



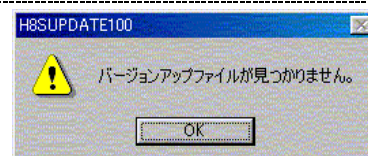
7-5. バージョンアップファイルが見つかりません。



- ・ バージョンアップファイルが指定フォルダに存在するか？
- ・ “参照(B)” をクリックし再度ファイルを指定する。

確認

対策

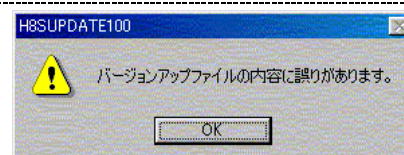


7-6. バージョンアップファイルの内容に誤りがあります。



- ・ 製品 “バージョンアップファイル” をもう一度ダウンロードし、バージョンアップをやり直す。

対策



7-7. バージョンアップファイルの転送に失敗しました。



- ・ RS-232C ケーブルの接続
- ・ 装置電源投入の状態
- 確認
- ・ ディップスイッチの位置

